

石川県生協連だより

第85号

石川県生活協同組合連合会
 〒920-0362 金沢市古府2-189
 コープいしかわ古府センター2F
 TEL076-259-5962 FAX076-259-5963
 http://ishikenren.jp

発行日/2016年1月31日
 発行責任者/横山 和男

石川県生協連創立50周年記念式典・講演・祝賀会

●日時 2015年10月10日(土) 午後1時~4時30分
 ●会場 ホテル金沢2階ダイヤモンドルーム



県議会議長 中村 勲氏



県民文化局長 森田 美恵子氏



挨拶する横山会長理事



金沢市長 山野 之義氏



北陸農政局消費・安全部長 鈴木 伸男氏

石川県生協連は1966年12月7日の設立から50周年の節目を迎え、8つの会員生協、30万人を越す組合員組織となりました。発展にご尽力いただきましたすべての皆さまへの感謝をこめて記念式典・講演・祝賀会を開催しました。

第1部 式典

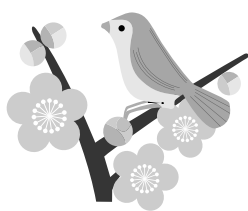
第1部の式典には国会議員、行政、関係団体、全国の生協、石川県生協連元役員、会員生協など82名の方々にご参加いただきました。

第2部 祝賀会

第2部の祝賀会には59名が参加し、西茶屋「名月」芸妓の演舞で開幕し、副会長理事長谷川隆史の挨拶に続いて、北陸労働金庫石川県本部長 柚木光様に乾杯の音頭をとっていただきました。和やかに歓談が進む中、参議院議員 山田修路様、野々市市長 粟貴章様、石川県労働者福祉協議会理事長 狩山久弥様、広島県生活協同組合連合会会長理事 岡村信秀様、石川県原爆被災者友の会会長 西本多美子様、前専務理事 表重雄様よりそれぞれお祝いのメッセージをいただきました。最後に青海専務理事より、今までご支援いただいたことへの感謝と生協連に課せられた役割を果たす活動をさらにすすめていくとの挨拶で祝賀会を締めくくりました。

まず、会長理事 横山和男より開会挨拶として、ご出席いただいた方々への感謝の意を表した後、来賓の石川県知事 谷本正憲様代理 県民文化局長 森田美恵子様、石川県議会議長 中村勲様、金沢市長 山野之義様、北陸農政局長 小林厚司様代理 消費・安全部長 鈴木伸男様よりご祝辞をいただきました。

次に専務理事 青海万里子より生協連の50年の歩みとして、生協連の設立から地域生協の合併などの歴史、食の安全・防災減災・消費者支援ネットワーク・平和・協同組合連携などの取り組みについて報告。その後の記念講演では、日本生活協同組合連合会代表理事会長 浅田克己様より「生協運動のいま、そして未来へ」地域活動の実践から課題と役割を探る」と題してご講演いただきました。



講演
要旨

「生協運動のいま、そして未来へ」

〜地域活動の実践から課題と役割を探る〜

日本生活協同組合連合会 代表理事会長 浅田 克己

全国の生協では事業インフラを活かして地域社会づくりに参加しており、近年は宅配事業のインフラを活用した「地域見守り活動」の協定を締結する生協が増えている。高齢化社会の中で支え合

い、助けあう社会のしくみ作りのお手伝いができるのが生協である。組合員参加による助け合いの活動のネットワークも広がってきている。また、生協は地域防災の取り組みにも参加しており、政府の「防災推進国民会議」の39団体の中に日本生協連も入っている。災害時の事業継続をめざす全国BCPの取り組みが全国ネットワークとして高く評価されたためである。今も東日本大震災復興支援活動を継続しており、「忘れない」「続ける」「つながる」支援活動を行っている。理



日本生協連 浅田代表理事会長

念・ビジョンは言葉だけではなく、行動し実践することが大事である。全国の生協の活動実践から何を学ぶか、原点をどこに

置くかを考えた時、初代会長である賀川豊彦を原点としたい。

賀川豊彦の経歴は、1909年神戸のストラムでの「救貧活動」からスタートし、その後アメリカ留学を経て「防貧運動」へと変り、生活協同組合をつくり、市民が自らの力で生活を守ることを進め、各地の生協の設立につながった。著書『協同組合の理論と実際』の中で「①協同組合の精神を一口に言へば助け合い組織である。②利潤があった場合、これを組合の利益のみに使はずは是非、社会公共のために捧げるやうにありたい。③生協は事業であると同時に、助け合いの組織であり、明日を拓く運動である。」と書いている。生協はもともと良い社会をつくるための組織である。賀川豊彦の考え方を

知るものとして『協同組合中、心思想』の遺訓があるが、これは今日の社会でも光を失っていない。

生協が21世紀の社会で果たす役割として、①共助のしくみづくりへの貢献 ②地域コミュニティ作りへの参加 ③社会的な運動の展開、の3つがあげられる。生協の助けあいの理念は変わらないが、助けあうべき社会的課題は変化する。課題としくみの現代化こそが私たちの役割である。

祝賀会の様子



乾杯挨拶
北陸労金 柚木本部長



開会挨拶
長谷川副会長理事



西茶屋「名月」芸妓の演舞



閉会挨拶
青海専務理事



メッセージ
山田修路参議院議員



歓談の様子

第50回生協連通常総会

●日時 2015年6月22日(月)
●会場 石川県勤労者福祉文化会館
2Fホール

第50回通常総会は、代議員定数44名のところ、本人出席32名、代理人出席5名、書面議決7名で開催されました。

来賓の金沢市市民局人権女性政策推進課課長 東田真澄様、石川県労働者福祉協議会理事長 狩山久弥様、日本生協連関西地連事務局長 辻祥行様よりご祝辞をいただきました。

青海専務理事より2014年度活動のまとめと決算、創立50周年記念事業を重点課題とした2015年度活動方針、役員選任議案等第1号議案から第5号議案について提案され、全議案を可決決定しました。議案審議では代議員6名より発言があり、審議を深めました。

＜発言者／発言内容＞

■生活協同組合コープいしかわ

北山 芳美 代議員
「石川県生協連の被災地視察ツアーに参加して」

■石川県学校生活協同組合

宮一 真実 代議員
「POP講習会に参加して」

■生活協同組合コープいしかわ

角田 主枝 代議員
「コープいしかわNPT再検討会議代表者派遣活動報告」



挨拶する横山会長理事



議案提案をする青海専務理事

■金沢医療生活協同組合

近松 美喜子 代議員
「金沢医療生協の委員会活動について」

■金沢大学生協同組合

井上 美紗子 代議員
「大学との災害協定締結に向けて」

■コープ北陸事業連合

坂野 俊雄 代議員
「コープ北陸の2014年度事業状況と第7次中期計画について」

第38回東海北陸生協行政合同会議

●日時 2015年10月9日(金)～10日(土)
●会場 KKRホテル金沢

生協行政合同会議は毎年1回、行政と生協が運営上の課題について意見交換を行うもので、今年は石川県生協連が開催当番となり、「行政と生協のパートナーシップ」「持続可能な地域社会の創生に向けて」をテーマに開催されました。

当日は、厚生労働省社会援護局地域福祉課 消費生活協同組合業務室長の佐藤潤様をはじめ、岐阜県、静岡県、三重県、富山県、愛知県、石川県の6県の各生協担当部局、日本生協連、各県生協連役員、のべ49名の方が参加されました。

私は石川県生協連の企画運営委員長の立場で当日の運営に携わらせていただきましたが、特に印象に残ったのは、「ESD」持続可能な地域社会の創生に向けて」と題して講演されたNPO法人えひめグローバルネットワーク代表でESDJ理事の竹内よし子さんのお話でした。1992年まで内



えひめグローバルネットワーク 竹内よし子代表



合同会議の様子

戦が続いたモザンビークで2000年から活動をスタートし、「あらゆる人々が、人として平和な日々をおくること」ができる持続可能な社会を実現すること」をビジョンに掲げ、地域・国内・海外の市民や諸団体とネットワークを構築されており、内戦で使われた武器を回収し、日本国内の放置自転車を生徒たちと共に修理して贈る活動に感銘を受けました。

また各県の生協担当部局の皆様からの活動報告は、消費者行政の推進について生協が行政との連携をはかる上で参考となる事例が多く、学びの多い中身の濃い一日となりました。

(コープいしかわ 堀口亮)

石川県・金沢市の防災訓練に参加

石川県生協連は石川県および金沢市と災害時における生活物資の供給・確保に関する協力協定を締結しており、協定に基づき日頃からの防災体制の強化・連携として防災訓練に参加しています。

■石川県防災総合訓練

●日時 2015年9月6日(日)
●場所 内灘町



小型船舶からの荷物の受け取り

生協連からは自家用車1台と従業員2名、コープいしかわからは配送トラック1台と職員2名が訓練に参加しました。避難所となった西荒屋小学校への物資輸送と共に、今回初めての訓練として小型船舶から荷物を受け取って、災害対策本部に物資輸送を行いました。

■金沢市市民防災訓練

●日時 2015年8月30日(日)
●場所 金沢市



非常食として利用できる保存食

金沢市市民防災訓練は、金沢工業高等専門学校、安原小学校、中央小学校芳斉分校の三か所で実施されました。金沢エコライフくらぶにご協力いただき、「非常時の持ち出し品クイズ」

「モシモのときに非常食になるイツモの保存食」の展示・説明を行いました。



子どもたちと非常時の持ち出し品クイズ

マイナンバー法学習会

●日時 2015年6月3日(水)
●会場 コープいしかわ古府センター 2F会議室

2016年1月1日施行のマイナンバー法の概要と対応実務について、日本生協連 会員支援本部長 宮部好広氏を講師に迎え学習しました。生協連理事・監事、会員生協実務担当者15名が参加しました。



講師の日本生協連 宮部好広氏



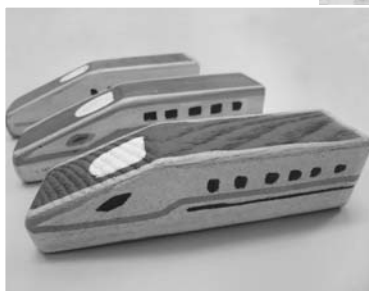
「いしかわ環境フェア2015」出展

●日時 2015年8月22日(土)・23日(日)
●会場 石川県産業展示館4号館



↑新幹線づくりに熱中する子どもたち

↓間伐材のブロックをペイントして作った北陸新幹線



生協連・コープいしかわの合同ブースでは、コープ北陸のサンゴの植え付け活動、金大生協のデポジットお弁当容器、コープいしかわのコープ森づくり・BDF燃料の紹介・「のとも」るスマイルプロジェクトの紹介と商品の展示などを行いました。また、ワークショップでは木づくりおもちゃ工房なかやまのご協力で「木のブロックをペイントして北陸新幹線をつくらう」を実施し、子どもたちに大好評でした。